

「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

学校名 [仙台市立中野学校] 氏名 [色摩 理好] [中] 学校 [29] 年版 単元名 [自分を守る] P 3 6 教科・領域名 [学校行事] [時間 50分]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>【ねらい】地震が起きた時、どんな危険が生じるのか知り、身を守るためにどのように判断し行動すればいいのか考える。</p> <p>1 東日本大震災の時、どこで何をしていたか振り返る。 ・教室で帰りの会 ・昇降口で下校準備 ・家</p> <p>2 P 3 6 の写真と掲示した写真をみて、地震が起きた時、どんな危険が生じるのか考える。 ・照明が落ちてくる ・下駄箱が倒れてくる ・窓ガラスが割れる</p> <p>3 学校外の風景の写真をみて、屋外にいた場合の危険について考える。 ・ブロック塀が崩れる ・木が倒れる ・看板が落ちてくる ・車が突っ込んでくる</p> <p>4 自助の力を育てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 2・3の危険が起きた時、どのように行動すればいいですか。 </div> <p>・周りに物が無いところに移動する ・建物から離れる ・塀から離れる ・車があまり通らない場所に移動する</p> <p>5 学区を示した地図に地震が起きた時に危険と思われる箇所を書き込む。</p> <p>6 5 で使用した地図を一つにまとめる。</p> <p>7 「自分の身は自分で守る」ということを常に意識することの大切さを知る。</p> <p>8 本時の振り返りと感想をワークシートに書く。</p>	<p>【準備物】防災副読本、学校生活の様子を写した写真、学校外の風景を写した写真、ワークシート、学区の地図、マジック</p> <p>○生徒の発言をうけ、学校生活の様子を写した写真を黒板に掲示する。</p> <p>○個人→グループ→一斉 と学習形態を広げていくことで、生徒どうして様々な危険があることに気付かせる。</p> <p>○学校外の風景の写真を掲示し、考えられる危険をできるだけたくさん挙げさせる。</p> <p>※危険と考えられることをたくさん板書したことで、生徒は自分自身で周囲の様子を的確に判断し避難しなければいけないことに気付いた。単に“学校の校庭に避難すればいい”とはいえないと感じていた。</p> <p>○地区ごとにグループを作り、危険な個所を考えさせることで、災害に対しての実践的な態度を育成する。</p> <p>○地域防災マップや危険個所マップの必要性に気付かせる。</p> <p>●生徒の感想</p> <p>・あらかじめ地域にどんな危険があるのかを覚えておかないといけないと思った。 ・考えながら逃げることを意識しなければならなかったと思った。 ・地震の時、落ち着いて行動しようと思った。 ・避難場所を確認したいと思った。 ・避難場所について家族と話し合おうと思った</p>